

新議会の構成決まる

議員の改選後初議会となる平成30年第1回奥州市議会臨時会を3月27日・28日の2日間にわたり開催しました。

この議会には議員28人全員が出席し、議長、副議長の選挙、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合等議会議員の選挙などを行いました。(臨時会の詳細はP19に掲載)



議長に小野寺隆夫議員

副議長に佐藤郁夫議員

3月27日の本会議において議長及び副議長の選挙を行いました。投票の結果、議長には小野寺隆夫議員(胆沢)、副議長には佐藤郁夫議員(江刺)がそれぞれ当選しました。

議長就任あいさつ

奥州市議会議長

小野寺 隆夫
おの であら たか お



この度、改選後の初議会において、市議会議長に選出いただきました。

大変光栄でありますとともに、責務の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、奥州市は、誕生して13年目を迎えます。旧市町村ごとに設置されておりました自治区制度も4月からなくなり、名実ともに奥州市がひとつの自治体としてスタートしました。正にこれからが奥州市の自治力が試される時であります。しかし、人口減少や少子高齢化、財政問題等々、厳しい現実はまだまだ続きます。

行政は必ずしも万能ではありません。市民一人ひとりがこのことを認識し、行政と市民、地域と地域とが互いに協働しながら、希望の持てるまちづくりへ一歩一歩あゆみ続けることが必要です。

議会もまた、地方分権時代の中、住民代表として、自治体の意思決定機関として果たすべき役割と責任は、ますます大きなものがあります。まずは、議会基本条例制定の趣旨に寄り添い、市民に開かれた議会の実現のために、積極的な情報の公開と、広く市民の声をひろい上げる広聴活動に力を注いでいく必要があります。

そして、「議会は言論の府」と言われるにふさわしく、建設的な議論が交わされ、そこから輝かしい未来の扉が開かれることを祈念するものであります。市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。